

社会科(地理分野)学習指導案

令和5年 11月 日 第 校時

1 単元(題材)名

アフリカ州

2 単元(題材)設定の理由

① 教材観

本単元は、学習指導要領社会科地理的分野の内容B「世界の様々な地域」の(2)「世界の諸地域」③「アフリカ」を指導内容として構成したもので、この単元のねらいは以下の3点である。

ア(ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。

(イ) アジア州からオセアニア州までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し、理解すること。

イ(ア) アジア州からオセアニア州までの世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という広がりや地域内に結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

② 生徒観

本学級は、挨拶の声が大きく、毎時間、気持ちのいい号令で授業を始めることができる。そのような明るい雰囲気の中で、学校生活や学校行事にも真剣に取り組もうとする生徒が多く見られる。また、授業にも意欲的に取り組むことができ、班活動などをしていても活気が見られる。しかし、いざ発言するとなるとそれができるのは一部の生徒のみであり、自分の意見を表現することに苦手意識をもつ生徒が多く、消極的になってしまう面がある。

③ 指導観

本単元では、アフリカ州が多くの課題(プランテーション、モノカルチャー経済、砂漠化、紛争など)を抱える現状と、そのような課題を抱えながらも、近年では経済発展を遂げていることについて学習する。本時では、これまでに学習したアフリカ州が抱える課題を振り返り、よりよいアフリカ州にしていくために、数ある課題の中から自分ならどの課題を優先させて解決していくかを考えさせたい。さらに、その考えを持ち寄り、話し合い活動を進めていく中で他の生徒の考えを聞き、アフリカ州の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考

察できるようにする。このときに、根拠を示して説明できるよう促したい。また、先進諸国とアフリカ諸国の間ではさまざまな援助が行われているが、それを理由に強者と弱者といった関係になることは間違いであること、対等な関係を築き、国際協調をめざすためにはまず相手のことを知ることが大切であるということに気付かせたい。

3 単元(題材)の目標

- (1) アフリカ州が抱える課題とその対策について、多面的・多角的に理解できる。
- (2) アフリカ州の発展のために必要な支援について追究し、考察することができる。
- (3) アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決に向けて、主体的に追究することができ

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係について、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。	①アフリカの抱える課題について、その原因や今後の展望を学習した内容と関連付けて、多面的・多角的に考察することができる。 ②自分の考えを班内や他班の考えと比較し、疑問点や共通点を明確にすることで考えを広げ深めることができる。	ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。

5 指導計画

第1次 アフリカ州の自然環境・・・1時間

第2次 アフリカの歴史と文化・・・1時間

第3次 特定の輸出品に頼るアフリカの経済・・・1時間

第4次 アフリカが抱える課題とその取り組み・・・1時間

第5次 学習を振り返り、これからのアフリカ州について考えよう(特設)・・・1時間(本時)

6 本時

(1) 目標

これまでに学習した、アフリカ州が抱える課題を振り返り、アフリカ州が国際的な支援から自立していくためには何が大切なのか、アフリカの人々の立場から考えることができる。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 評価規準	評価方法
5分	これまでの学習内容を振り返り、本時の課題を把握する。	○これまでの学習内容を電子黒板に提示し、学習課題を把握しやすくする。		
アフリカ州が国際的な支援から自立していくためには何が大切なのかを考えよう。				
10分	課題について、理由をはっきりさせて自分の考えを書かせる。 (iPad、MetaMoji Classroom 使用)	○ワークシートを配布する。 ○これまでの学習を想起させる。 ○机間指導を行い、考えることが難しい生徒にヒントを与える。	知・技 思・判・表－①	行動観察 ワークシート
10分	班で意見を交換し、話し合って意見を一つにまとめる。	○班の中で役割(司会、記録、発表)を与え、活動を円滑に進めさせる。必ず全員の意見を聞くこと。	知・技 思・判・表－②	行動観察 ワークシート

10分	まとまった意見をタブレットに書き、電子黒板に写して班ごとに発表する。	○発表者の話を聞く姿勢を大切にし、質問や意見を出すよう促す。		行動観察
10分	他班の発表を聞いて、再度自分の意見をまとめ、発表する。	○机間指導を行いながら、意見に変化がある生徒、変わらない生徒にそれぞれ発表させる。	思・判・表－②	行動観察 ワークシート
5分	本時の振り返り			

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	アフリカ州が抱える諸課題について、これまでの学習内容と結び付けて、多面的・多角的に考察しようと努める様子が観察される。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	これまでの授業のワークシートを振り返ったり、友人と話し合ったりして考えるよう助言する。

本学級は、挨拶の声が大きく、毎時間、気持ちのいい号令で授業を始めることができる。